

■ 人間の構造

【三位一体】

5 人間は、肉体・^{ゆうたい} 幽体・^{れいたい} 霊体(魂を含む)の、三つの構造で成り立っています。

【肉体の特徴】

10 人間の肉体を作っている元素は全部で29種類あります。

人体の大部分は水ですから、水素原子が半分以上の60.3%を占め、次いで酸素分子が25.7%、炭素分子が10.5%、窒素分子が2.4%とこの4種類の元素で98.9%を占めます。

残り25種類の元素は全部あわせても1.1%と微量ですが、人体にとって必要不可欠なもの
15 のです。

新生児だと、この水の割合はさらに高く、体重の80%が水素原子で成り立っています。

もう少し詳細に説明しますと、生命の最小単位は細胞です。

細胞はタンパク質、核酸、糖質などの生体高分子と呼ばれるもの、さらに脂質やさまざまな
20 イオンなどが複雑な構造で組合わされていますが、これらの諸要素を結び付けているのが水
なのです。

水と言っても形態は変わっており、これは原形質と呼ばれるもので、ドロドロとしたゼリ
一状をしています。

目に見えないほど小さい細胞の中で、水の分子が絶え間なく休まず動きまわり、生命を支
25 えています。

細胞の種類によっても異なりますが、ある細胞などは全体の70%が水のものもあります。
水の中にタンパク質、核酸、糖質などが浮かんでいて、それらを細胞膜という皮膜で取囲ん
だものが細胞なのです。

30 このような細胞が60兆以上も集まって、ひとつの体を構成し、さらにその表面を皮膚（これ
も細胞の固まり）がカバーとして覆っているのです。

これは人間に限ったことではなく、生物体は一見固体のように見えますが、ほとんどが
“液体” “水” なのです。

35

【幽体の特徴】

・ 肉体と同じ姿の透明な^{からだ}身体です。
40 肉眼では殆どの方は見る事が出来ませんが、希に見える方も存在します。

・ 通常は肉体に浸透するように同じ形で存在します。
生きている人間の肉体から離れることを幽体離脱といいます。